

一般会計 255億

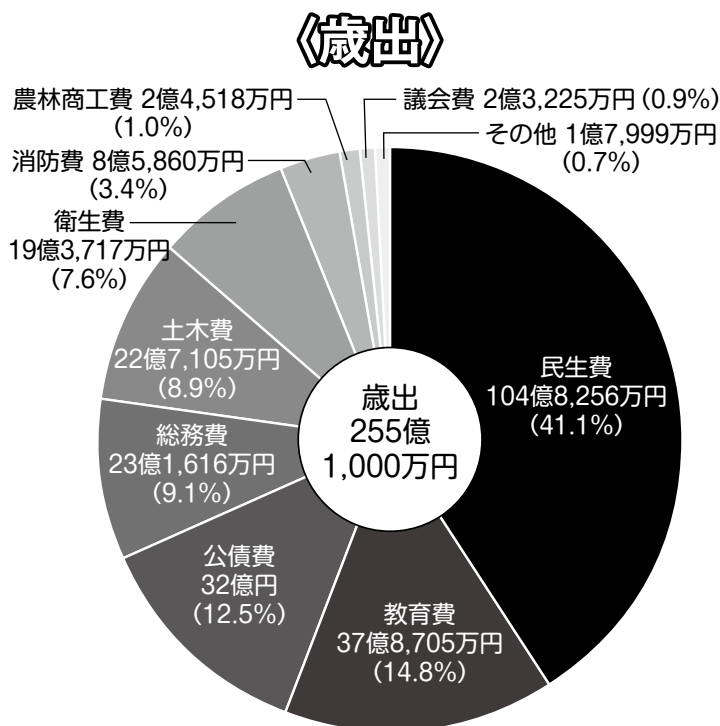
前年度比 1億

歳出の性質別経費の内訳

歳出を経費ごとに経済的な性質を基準として分類したものを「性質別経費」といいます。

令和3年度の歳出を性質別経費で分類すると次のようになります。

義務的経費	扶助費	64億9,030万円
	人件費	41億8,831万円
	公債費	32億円
消費的経費	物件費	35億5,882万円
	維持補修費	8,061万円
投資的経費	普通建設事業費	22億9,831万円
その他の経費	繰出金	26億8,572万円
	補助費等	26億6,645万円
	積立金	2億9,028万円
	予備費	5,000万円
	貸付金	120万円
	合計	255億1,000万円



人件費、扶助費、公債費の義務的経費については、前年度と比較して4億4,399万円(3.3%)の増加となっています。公債費については市債の発行抑制及び過去に発行した起債が順次償還を迎えたことにより、6,300万円(1.9%)の減少となっています。

一方、扶助費については障害福祉費の増加などにより2億3,212万円(3.7%)の増加となっています。

消費的経費は2億5,264万円(6.5%)、投資的経費は3億9,045万円(14.5%)の減少となっています。

目的別の歳出については、前年度と比較して、農林商工費で1,568万円(6.8%)、民生費で4億7,075万円(4.7%)、議会費で691万円(3.1%)の増加となっています。

一方、総務費で3億3,916万円(12.8%)、消防費で6,109万円(6.6%)、教育費で1億6,848万円(4.3%)の減少となっています。

*数字は各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

【歳出編】予算の使い道

民生費

保育所の運営費や子ども医療、高齢者などの福祉に使う経費

教育費

小・中学校や図書館の運営などに使う経費

公債費

国や銀行などから借り入れたお金の返済に使う経費

総務費

職員や施設に対する全般的な管理などに使う経費

土木費

道路や河川、公園の整備などに使う経費

衛生費

ごみ処理、病気予防などに使う経費

消防費

消防活動、防災関係に使う経費

農林商工費

農業の振興、中小企業の応援、就労に関する事業などに使う経費

議会費

市議会の運営に使う経費

